

立命館大学長野県校友会員の皆様へ 長野県校友会会長 土屋 勝浩 (法 89)

皆さん、こんにちは。長野県校友会会長を仰せつかっております土屋勝浩です。

昨年は、2 年に 1 度の長野県校友会総会が 11 月 16 日にホテルモントニュ松本で開催され、来賓・会員合わせ 57 名の方にご参加いただきました。改めて総会を支えて頂きました役員並びに会員の皆様に心からの感謝を申し上げます。

当日は、講演会の講師として立命館大学国際平和ミュージアム館長の君島東彦教授をお迎えし、「国際平和ミュージアムと無言館」と題して、一昨年立命館大学が運営支援を表明した、上田市古安曾にありますが「無言館」との深い繋がりについてご講演をいただきました。実に、戦没画学生の作品展示においては四半世紀に渡る交流の歴史があるとのこと。私たち長野県校友会とも密接な関わりがありますので、今後

も重要な活動テーマに位置づけて支援をして参りたいと思います。5 月に行なわれました幹事会では、先ずは無言館という施設を知って頂くことから始めようということで、「無言館見学ツアー」の企画が決まりました。詳細はこれからとなりますが、他県の校友会にも声を掛け、多くの方に参加頂ける企画にしたいと考えています。開催時期は来春を予定していますが、今後詳細はメール・HP 等でお知らせ致します。それまで楽しみにお待ち下さい。

また、大学も昨年「学園創立125周年」を迎え、京都国際会館で記念式典が行なわれました。当日は、彬子妃殿下による「京都で学ぶ 京都に学ぶ」という記念講演も行なわれ、式典に華を添えていただきました。改めて京都から日本文化を発信する意義を感じることができました。

その他、大学の近況を申し上げますと、令和 8 年の受験者数は初めて 10 万人を超え、この 4 月からは新たにデザイン・アート学部が新設されました。これで、学部数は 17 で西日本 1 位、学生数も 37,000 人を超え、全国第 4 位とまさに日本を代表する総合大学に変貌を遂げています。少子化で大学経営が厳しい中、母校は着実に発展を遂げています。大阪府茨木市にも新たなキャンパスを構えておりますので、皆さんも久しぶりに母校を訪れてみては如何でしょうか。



2025.11.16 長野県校友会総会



新幹事長挨拶

校友の皆様、2026 年度より長野県校友会の幹事長を仰せつかった 2000 年(平成 12)経済学部卒の上條雅和と申します。

大学時代は 4 年のうち 1.2 回生が衣笠・残りが BKC で、両方楽しめるから良いかと思っていたら大間違いでした。「校舎や学部が違ふとここまで景色が変わるのか！」と環境や雰囲気の違いをひしひしと感じ、京都が良いと思いながら過ごしてきました。

同級生達と演劇サークルを立ち上げて活動してきましたが、練習で集まるキャンパス間の移動が大変でした。バイクに乗って向かう際、30 キロ程度しか離れていないのに京都と滋賀で

は温度が 2・3 度変わり、そんなに違うのかとびっくりしたのを覚えています。

松本出身ではありますが、卒業後も関西で就職、2022 年に松本へ戻ってきました。

関西在住時には経済学部の幹事会や、大阪や兵庫の校友会にも参加していましたので、ある程度校友会全体の流れは理解しており、培った人のつながりもあるかと思っています。

ですが長野県校友会についてはまだまだこれからという段階で、降幡前幹事長に教わりながら進めていきますが、わからない点も多いため、皆様のご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願い致します。